2026
06
Vol. 114

Monthly Report of Faculty of Architecture

東北工大建築学部通信

Since 1966-2020->>>

発行：東北工大建築学部　学部長　船木 尚己

Pick Up News

前期もいよいよ折り返し地点に差しかかりました。1年生は大学生活にも少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。一方、4年生は就職活動や進路選択が本格化する時期を迎えています。今年度も建設・建築業界では採用活動の早期化が進み、就職内定に向けた選考が例年以上に早い段階で行われています。2・3年生の皆さんにとっても、将来の進路や目標について早い段階から意識を持ち、準備を進めていくことが大切です。先月号では大学院生の活躍について紹介しましたが、今月号は先生方の活躍について紹介したいと思います。

その中でも、石井先生が建築分野で最も権威ある賞の一つである日本建築学会の学会賞（論文）を受賞されました。長年にわたる優れた研究成果と建築学の発展への貢献が高く評価されたものであり、建築学科にとって大変喜ばしいニュースです。学科教員の活躍は、皆さんが高度な研究や専門知識に触れることのできる学修環境の充実にもつながっています。学科には大学院へ進学した先輩たちも多く在籍していますので、興味のある方はぜひ実際の体験談を聞いてみてください。また、建築学科公式Instagramでは、在学生サポーターによる情報発信が積極的に行われています。学生ならではの視点から、授業の様子や課外活動、キャンパスライフなどを楽しく紹介しています。おかげさまで、6月末時点でフォロワー数は1,100名を超えました。今後も建築学科の魅力を広く発信していきますので、ぜひご覧ください。前期後半も、授業や課外活動、資格取得、進路準備など、それぞれの目標に向かって充実した時間を過ごしてほしいと思います。暑い日が続きますので、体調管理にも十分気を付けながら、一日一日を大切に過ごしてください。

建築学科の研究力を示す快挙
石井敏教授が日本建築学会賞（論文）を受賞

建築学科の石井敏教授（副学長）が、「環境行動学的視点に立脚した認知症および要介護高齢者施設の建築計画に関する一連の研究」で2026年日本建築学会賞（論文）を受賞しました。

同賞の贈呈式が、5月29日に建築会館（東京）にて行われました。日本建築学会賞は建築学分野における日本で最も権威のある賞とされています。認知症や要介護高齢者施設において、空間や物理的環境が生活とケアの質向上に果たす役割を環境行動学的視点から実証し、介護施設の建築計画的知見を提示し、また「ケア環境の建築計画学」を確立し、超高齢社会の福祉及びケア環境構築に貢献した約30年にわたる一連の研究業績が評価されたものです。

構造ヘルスモニタリング研究を世界へ発信
薛松濤教授が新疆大学（中国）で招待講演

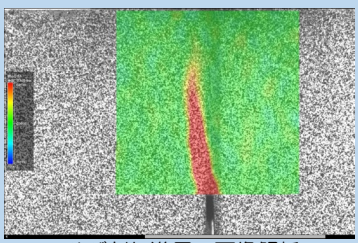
2026年6月1日（月）、建築学科の薛 松濤教授が、中国・新疆大学 建築工程学部において招待講演を行いました。

講演では、構造ヘルスモニタリングシステムの最新技術をテーマに、地震被害を受けた建築物の損傷把握やレトロフィット過程における構造性能の評価、長期的なモニタリング手法などについて、実例を交えながら紹介しました。特に、本学の実構造物を対象とした計測・解析技術の活用や、建築物の安全性・維持管理に向けた今後の展望について解説が行われ、参加者からも高い関心が寄せられました。講演後には、薛教授に対し新疆大学より招待講演の証書が授与されました。今回の講演は、構造工学分野における国際的な研究交流を深める貴重な機会となりました。

Pick Up Lab.

菊田研究室では、「破壊をデザインする研究室」をキーワードに、コンクリート、土、木材などの準脆性材料を対象として、ひび割れや破壊の発生・進展メカニズムの解明に取り組んでいます。高性能繊維やカーボンナノチューブなどの先端材料を活用し、材料内部で起こる破壊現象を可視化・制御することで、より安全で長寿命な建築材料の創出を目指しています。また、脱炭素社会の実現に向けて、超高断熱材料や地域資源を活用した新材料の研究も進めています。材料が「なぜ壊れるのか」を深く探究し、未来の建築を支える新しい材料設計に挑戦しています。

曲げ試験の様子


ひび割れ進展の画像解析

3年 Y. K さん
名取北高校 出身

Pick Up Student

建築を学ぶ中で感じている魅力は、ただ建物を設計するだけではなく、その土地の歴史や周辺環境、人々の暮らしについて深く知ることができる点です。設計課題では敷地調査を行い、「なぜこの場所なのか」を考えながらコンセプトをつくります。過去の出来事や地域の特徴、歴史を調べることで、新しい建築のアイデアにつながることも多く、毎回新たな発見があります。期限までに図面をまとめたり模型を制作したりと大変なこともありますが、自分の考えを形にしていく過程には大きなやりがいがあります。建築はデザインだけでなく、歴史やまちづくりなど幅広い視点から学べる、とても魅力的な分野だと感じています。

2年 M. O さん
白石工業高校 出身

Pick Up Student

建築学科の講義の中で1番楽しいのは建築設計です。ですが、それと同時に1番大変なのも建築設計です。私は昔から創作や物作りなどが好きで、特にアイデアを出すことが得意でした。ですが、私は手先が不器用なので模型製作がとても苦手です。なので、いつもまとまった案を模型などの形にする作業で行き詰ってしまいますが、エスキスなどを通して様々な先生方のアドバイスを聞き、理想に近い形に近づけるよう日々努力しています。私は将来、住宅設計の仕事をしたいと考えています。なので、資格勉強やこれからの設計課題などを通してより得意なことを伸ばしつつ、苦手をなくしていけるよう励んでいきたいです。